

地域の往診・訪問診療医を知ろう！

やすむろ在宅クリニック

報告

シリーズ第8回
安室地域

開催日時:2025年5月29日(木)15:00~16:00 会場:姫路市医師会館



この研修会は、主に介護職と医師の顔の見える関係づくりができ、介護職が気兼ねなく、必要な時に、適切な連携(情報共有や相談)ができるようになることを目的として、シリーズで開催しています。今回は、姫路市田寺(安室地域)の**やすむろ在宅クリニック** 院長 **松本 卓也** 医師に、自院の特徴や多職種との連携についてお話しいただき、多職種 49 名の方々にご参加いただきました。

・自己紹介、医院の紹介

往診・訪問診療専門クリニックで、専門分野は、消化器外科です。医療度の高い方や医療的ケア児も積極的に受け入れています。

・管理栄養士による訪問栄養食事指導の導入

管理栄養士による訪問栄養食事指導を積極的に行っています。

嚥下機能が低下した方や家族への食事・調理指導が主な導入ケースです。

また、体重・栄養状態維持のための補助食品等の指導も行っています。導入に当たりみなさんからの情報提供は重要です。

・看取りについて

看取りのケースは短期間のお付き合いとなることが多く、以前から支援をされているみなさんからの情報(病状だけでなくその方の人生の背景・趣味・好きなことなどその方の人となりがわかる情報)がACP の関わりとして診察時にとても役立つことができ、重要です。

・多職種との連携について

MCS(メディカルケアステーション)を活用し情報共有しています。

文書・画像等の共有もできます。

・多職種へのメッセージ

同じ方向性をもって、それぞれの職種が責任をもって判断・行動できる能力が必要です。

また、フラットな関係で連携し、お互い尊重し合う意識が重要と考えています。

・質疑応答



《アンケートより 一部抜粋》

- ・在宅医療に対する思いや連携に対する考えがわかった。松本先生の人なりを知ることができ、理解が深まった。
- ・訪問診療へ繋ぐ際の医師が知りたい情報や連携のあり方がよくわかった。
- ・居宅や施設で過ごされる患者様の意思決定支援の重要性についてわかった。
- ・管理栄養士の介入を積極的にされており、その必要性を感じた。
- ・訪問診療の内容、先生の人柄、クリニックのことなど、力を入れられていることなどが理解できた。
- ・基本情報には利用者の今までの生活歴や好きなことなど人となりが伝わる内容を書くことで、先生はその情報を診察に活用されていることがわかった。
- ・医師への相談について、積極的に行っていっていいことがわかり安心した。

次回の「地域の往診・訪問診療医を知ろう！」は、さわだ内科・呼吸器クリニック 澤田茂樹先生です。7/17(木)開催予定！